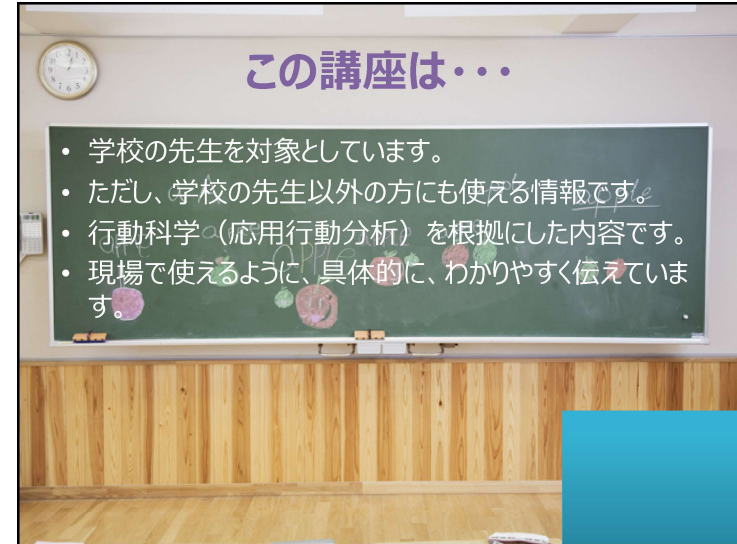
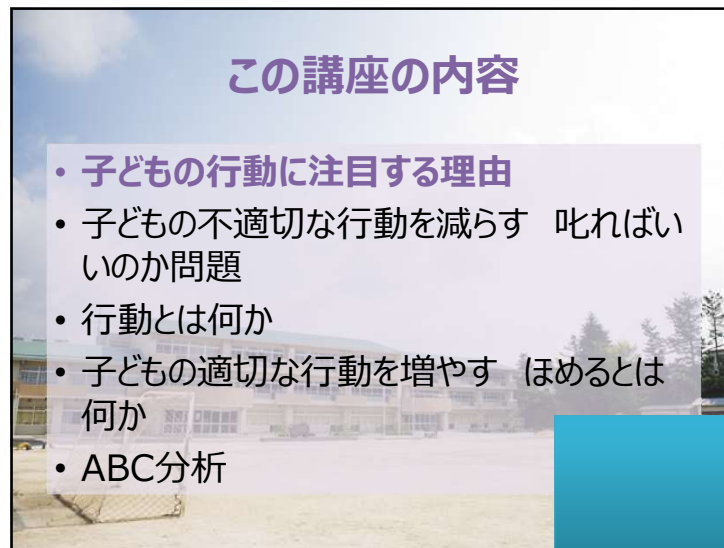




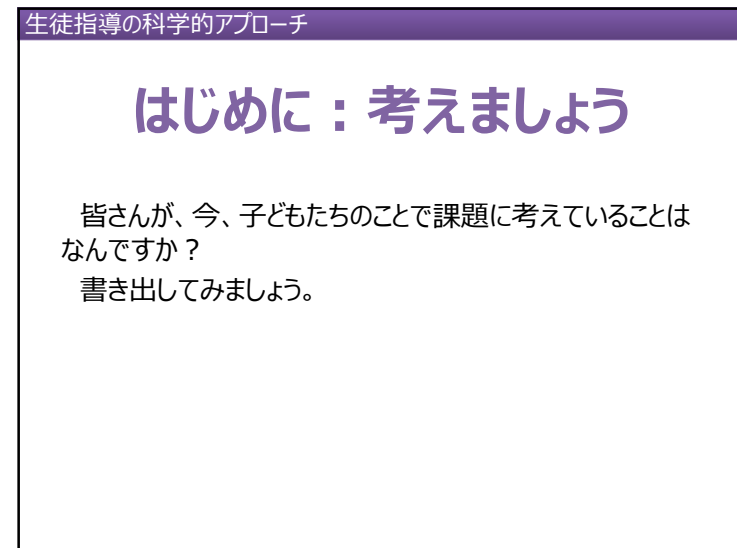
1



2



3



4

生徒指導の科学的アプローチ

子どもの課題

- 勉強ができない
- 自分から勉強しない
- やる気がない
- ゲームばかりしている
- すぐに怒る
- いじめ
- 不登校
- 低学力
- コミュニケーション
- 感情コントロール

これらは、全て、子どもの行動についての問題です！

5

生徒指導の科学的アプローチ

ところで、学習とは何か 知っていますか？

経験を通じて**行動**に持続的な変化が生じる、ないし**行動**パターンが変化する現象のことを学習と定義する。

（長谷川ら、はじめて出会う心理学、2008）

6

生徒指導の科学的アプローチ

つまり・・・

学習指導も、行動支援とすることができます。

教師はもちろん、親も、その他、子どもの指導支援をしている人は全て、シンプルに次のことをやろうとしています。

**子どもの不適切な行動を減らす
子どもの適切な行動を増やす**

7

生徒指導の科学的アプローチ

考えましょう

- 子どもの不適切な行動を減らしたいと思ったとき、あなたはどうしますか？
- 子どもの適切な行動を増やしたいと思ったとき、あなたはどうしますか？

8

この講座の内容

- 子どもの行動に注目する理由
- 子どもの不適切な行動を減らす 叱ればいいのか問題
- 行動とは何か
- 子どもの適切な行動を増やす ほめるとは何か
- ABC分析

9

生徒指導の科学的アプローチ

不適切な行動を減らす = 叱る

- 不適切な行動を減らしたいときは、「叱る（怒る）」人が多い。
- つまり、その行動の結果、「よくないこと」が起これば、その行動は減るだろう、ということ。
- しかし「叱る（特に強い叱責、体罰）」には、教育効果が限定的で、むしろ副作用が強いことが既に証明されている。

10

生徒指導の科学的アプローチ

不適切な行動を減らす = 指導する

- 不適切な行動に対し、「指導する」とする人も多いが、そこでの「指導する」とは具体的に何を意味するのだろうか？

11

生徒指導の科学的アプローチ

「指導する」ときの目標

- では、あなたは次のような不適切な行動をする子どもたちに、どのような目標を立てて指導しますか？

友達の邪魔をする
授業中に騒ぐ
友達から嫌われるような行動をする

12

生徒指導の科学的アプローチ

「指導する」ときの目標

友達の邪魔をする

→ 友達の邪魔をしない！

授業中に騒ぐ

→ 静かにしなさい！

友達から嫌われるような行動をする

→ 友達から好かれるようにしなさい！

13

この講座の内容

- 子どもの行動に注目する理由
- 子どもの不適切な行動を減らす 叱ればいいのか問題
- **行動とは何か**
- 子どもの適切な行動を増やす ほめるとは何か
- ABC分析

14

生徒指導の科学的アプローチ

「それは行動なのか」問題

友達の邪魔をしない！

静かにしなさい！

友達から好かれるようにしなさい！

学習とは「行動の変化」だから、
私たちが求めていることが「行動」
である必要がある。

15

生徒指導の科学的アプローチ

デッドマンテスト

「『デッドマン（死人）にできること』は行動ではない」ということからそれが行動かどうかを判断する方法

例

友達の邪魔をしない

デッドマンは絶対に友達の邪魔をしない。よってこれも行動ではない。

静かにしている

デッドマンは静かにできる。
よってこれは行動ではない。

16

生徒指導の科学的アプローチ

つまり...

以下に当てはまることは、「行動ではない」と言えます。

否定形

たたかない、邪魔をしない、遊ばない、立ち歩かない

外から変化を観察できないこと

静かにしている、動かない、じっとしている

受け身形

みんなに認められる、ほめられる

17

生徒指導の科学的アプローチ

考えてみよう

皆さんの対応の中に、子どもたちに「デッドマンことば」で指示していることはありませんか？

それを「行動指示」に言い換えてください。

例：静かにしなさい → 静かに～～をしましょう

叩かない、遊ばない → ～～をしましょう

※行動指示をするには、**対象児童生徒にあった活動**を用意することが前提になります。

18

生徒指導の科学的アプローチ

おまけ

皆さんたちの指示に、「しっかり」「きちんと」「丁寧に」のような言葉が入っていませんか？

例：きちんと片付けなさい

丁寧な字を書いてください

※「しっかり」「きちんと」「丁寧に」は、基準がわからないと相手に伝わりません。「しっかり」「きちんと」「丁寧に」の意味を明確に伝えてから使うようにしましょう。

19

この講座の内容

- 子どもの行動に注目する理由
- 子どもの不適切な行動を減らす 叱ればいいのか問題
- 行動とは何か
- **子どもの適切な行動を増やす ほめるとは何か**
- ABC分析

20

生徒指導の科学的アプローチ

適切な行動を増やす ＝ほめる

- 適切な行動を増やしたいときは、「ほめる」人が多い。
- つまり、その行動の結果、「よいこと」が起これば、その行動は増えるだろう、ということ。

21

生徒指導の科学的アプローチ

「ほめる」とは？

- 逆に言うと、増やしたい行動が増えなければ、「ほめる」になっていない、とすることができる。
- また、その行動が増えてしまったら、大人が意図しなくても「ほめる」になっていることもある。

22

この講座の内容

- 子どもの行動に注目する理由
- 子どもの不適切な行動を減らす 叱ればいいのか問題
- 行動とは何か
- 子どもの適切な行動を増やす ほめるとは何か
- **ABC分析**

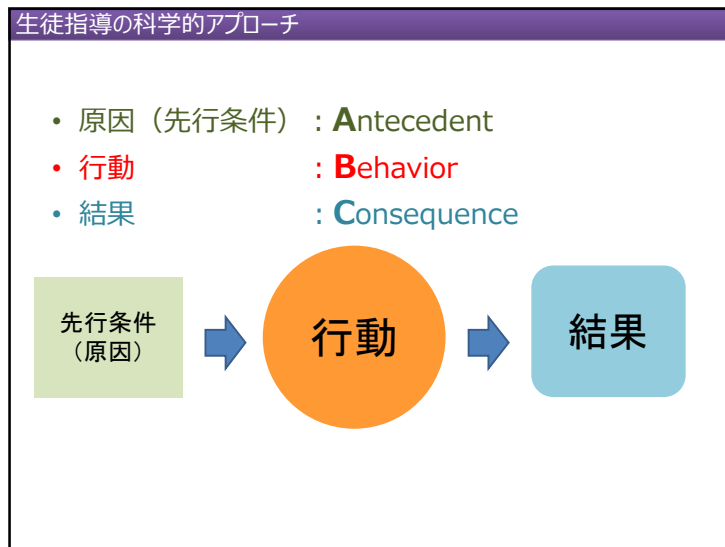
23

生徒指導の科学的アプローチ

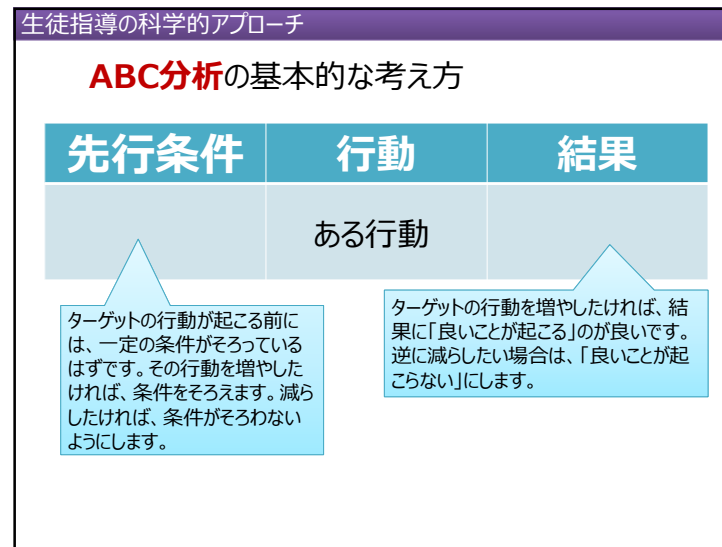
ABC分析について

これまで「行動」のみに注目していたが、ここでは、「原因」→「行動」→「結果」（行動随伴性）の流れの中で「行動」をとらえる。

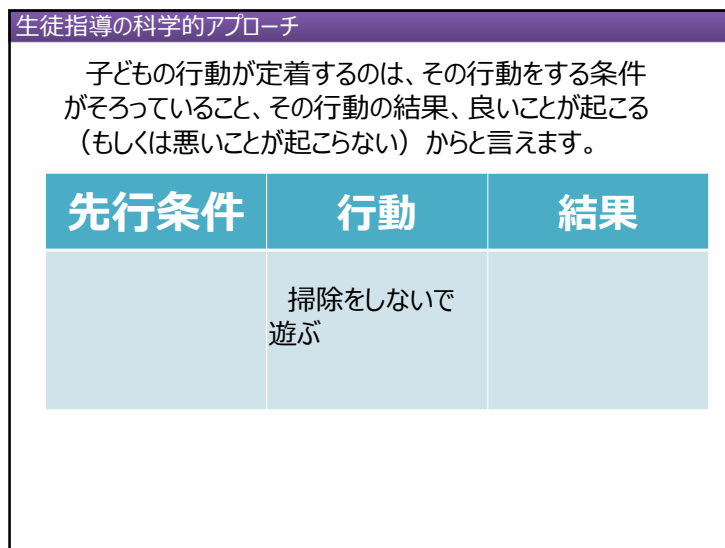
24



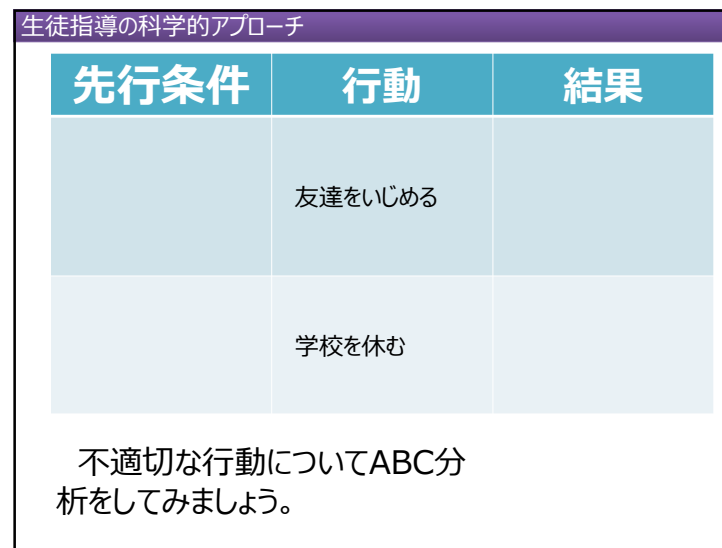
25



26



27

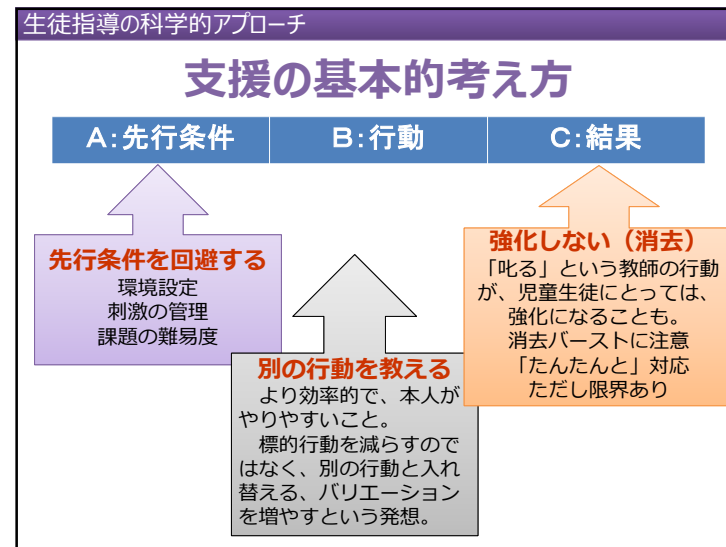


28

生徒指導の科学的アプローチ		
先行条件	行動	結果
	友達と仲良くする	
	授業を積極的に受ける	

今度は適切な行動についてのABC分析です。

29



30

生徒指導の科学的アプローチ

先行条件に注目する

- 不適切な行動が起こるときには、それが起きやすくなる先行条件があり、適切な行動についても同様である。
- つまり、不適切な行動の原因は、子どもではなく、子どもたちにそうさせてしまう環境側（教師行動を含む）にあると考えるべき。
- さて、どんな環境が、子どもの不適切な行動を増やすと思いますか？

31

生徒指導の科学的アプローチ

よくある先行条件の問題

- 課題設定の問題**
 - 課題（期待されている行動）が難しすぎる、簡単すぎる
 - 何か明示されていない、やり方を教えてもらっていない
 - 課題が多すぎる、少なすぎる
 - 課題に興味がない、意味がわからない
- 環境設定の問題**
 - 刺激が多すぎる、刺激が少なすぎる
 - 悪いモデルがある、良いモデルがない
 - 指示や説明がわかりにくい など

32

生徒指導の科学的アプローチ

行動に注目する

- 不適切な行動には機能（目的）がある。
- その機能を果たす適切な行動を教えれば良い。
- 例えば、「あばれる」代わりに「助けを求める」「交渉する」「あやまる」、「他のストレス解消方法をする」、など。
- 多くの場合、コミュニケーション（交渉、謝罪、援助要請）、余暇（気晴らし行動）があると不適切な行動が減る。

33

生徒指導の科学的アプローチ

不適切な行動・適切な行動

- 減らしたいと考える不適切な行動には、必ずその対となる適切な行動がある。

不適切な行動	適切な行動
授業妨害	
友達をいじめる	
怒って暴力	
マナー違反	

34

生徒指導の科学的アプローチ

行動を増やすと減らすの関係について

こんなことってありませんか？

子どもが不適切な行動をすると叱る
（例えば、授業の邪魔をしていたとき）

子どもが適切な行動をしていると叱らない
（例えば、しっかり授業を受けていたとき）

35

生徒指導の科学的アプローチ

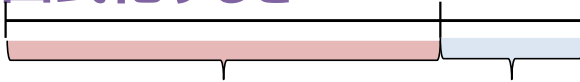
わかりやすくするために、**ABC分析**で先ほどの例を整理します。

先行条件	行動	結果
様々な場面	不適切な行動	
	適切な行動	

36

生徒指導の科学的アプローチ

図式化すると



37

生徒指導の科学的アプローチ

まとめ

- 学習指導も子どもの行動支援の一つと考えることができる。
- ABC分析は、行動支援の基本的なスキル。
- 先行条件を整えるのが第一。失敗をさせない教育が可能になる。
- 「叱る」にはあまり意味がない。「叱る」前に、先行条件を整えられなかった責任を考える。
- 適切な行動を増やせば、不適切な行動は自動的に減る可能性が高い。

38

確認クイズ

- 子どもの行動に注目する理由は？
- 子どもの不適切な行動を減らすには？
- 行動とは何か？ デッドマンテストとは？
- 子どもの適切な行動を増やす ほめるとは何か？
- ABC分析とは？

39

（公社）子どもの発達科学研究所

- 子育てに関する様々な情報提供、学びの場の提供をしています。
- ほぼ毎日、動画の配信もしています（FB）。
- この機会に是非、仲間になってください！

40